

この度は 各ご家庭に大変なご迷惑とご心配をお掛けしてしまいました。

日頃から 子どもの安全を主として、子どもたちを取り巻く環境については十分な注意を
施し、感染予防の指導を重ねて参りました。 目に見えないモノとの戦いはとてむずかしい
ですが、これからも更なる予防に心して参ります。 これからもご協力とよろしくお願ひします。

■ テレビニュースで報道されておりました。
就学前の幼児の交通事故が最近急増
しているとの事です。

昨年は 過去最高であり、国とその対策を
急いでいるそうです。

その特徴として、時間帯では
日没が近くなり始める時間帯
から日没までの時間が最多とい
われており、それも 幼児のみで
大人と見られる者は居ないと。

そして、現場のほとんどが、自宅から100メートル
以内で起きています。

近くの公園でのあそびからの「帰り道」
だった事が想像されます。
外あそびが多くなる季節になりました。
ご注意ください！

■ 5月から つぼみ組の給食とはじまりです。
そして、年少・中長のおひだちのお弁当の日も
あります。

昼食タイムは、楽しいときにしてあげたいですね。
好き嫌いがあって給食はがまんのおときには



したくないですが、お弁当は我が子
の大好物を入れてあげてください。
それと、喰べやすく♡…

でも、^{とくはく}黙食にしなければなりません。
本当に残念です。

いつの日か、楽しいおしゃべりを

しながら楽しむときを待ちます。



(心の育ちシズ)

ぶっかり合いから学ぶ

それぞれの家庭の温かいぬくもりの中で育ってきた子どもたちは、いよいよその
家庭を離れての生活を経験することになりました。

「子どもは環境で育つ」という名言があります。正にそのとおりです。
幼稚園と言う子どもたちの集団生活の場を経験することになりました。

それぞれの家庭は、人数構成も、両親の育て方も、家庭の雰囲気にも
違いがあります。
そこで育ってきた子どもたちが、同じ屋根の下で一緒に生活をはじめると
です。

「子ども100人居れば100の個性あり」と良く言ったそうです。
その子どもたちが、同じ屋根の下での集団生活が、これからの幼稚園生活です。
ですから「ぶっかり合い」は当然ですね。
とめごと、けんか、異地悪など日常茶飯事です。

このような経験を幼いうちにどのように経験するのか！ によってその子の
これからの育ちに大きな影響が出てきます。

幼稚園は今年で50年目を迎えました。
これ迄、子どもたちから色々なことを学んできました。

子どもたち一人ひとりの心を育てることを理念としておりますが、私自身が
子どもたちから「思いやり」の育て方を学んだのです。
追ってこのことについて触れて参りたいと思っております。